

○議長（茅沼隆文）

議案第53号 平成30年度開成町水道事業会計補正予算（第1号）について、担当課長に説明を求めます。

○上下水道課長（熊澤勝己）

議案第53号 平成30年度開成町水道事業会計補正予算（第1号）。

総則、第1条、平成30年度開成町水道事業会計補正予算（第1号）は、次に定めるところによる。

収益的収入及び支出。第2条、平成30年度開成町水道事業会計予算（以下「予算」という。）第3条に定めた収益的支出の予定額を次のとおり補正する。

支出、科目、第11款水道事業費用、既決額2億6千366万3千円、補正予定額0円、合計2億6千366万3千円。

第1項営業費用、既決額1億7千735万3千円、補正予定額17万9千円、合計1億7千753万2千円。

第3項予備費、既決額5千765万2千円、補正予定額マイナス17万9千円、合計5千747万3千円。

資本的収入及び支出。第3条、予算第4条、本文括弧書き中、不足する額2億1千815万4千円は、過年度分損益勘定留保資金2億408万5千円を不足する額2億1千869万6千円は過年度分損益勘定留保資金2億462万7千円に改め、資本的支出の予定額を次のとおり補正する。

支出、科目、第12款資本的支出、既決額2億7千842万2千円、補正予定額54万2千円、合計2億7千896万4千円。

第2項増設改良費、既決額2億1千825万6千円、補正予定額54万2千円、合計2億1千879万8千円。

平成30年12月4日提出、開成町長、府川裕一。

今回の補正ですが、総務課長より御説明がありました、職員給与の見直し、及び職員移動に伴う給与費の補正です。

では、9ページをお願いいたします。明細書で説明いたします。収益的収入及び支出の収益的支出です。

11款水道事業費用、1項営業費用、1目原水浄水配水及び給水費、補正額5万8千円の増額は、給与費見直しに伴う給与費の増額です。

3目総係費、補正額12万1千円の増額は、給与見直しに伴う給与費の増額です。

3項予備費、1目予備費、補正額17万9千円の減額は、歳入歳出の収支を合わせるため、補正をするものです。

続きまして、資本的収入及び支出の資本的支出、12款資本的支出、2項増設改良費、1目配水設備整備工事費の54万2千円の増額は、給与見直し及び人事異動に伴う給与費の増額です。

6ページをお願いいたします。平成30年度開成町水道事業予定キャッシュフロー計算書です。今回の補正に伴う当当初予算のキャッシュフローと補正の箇所です。1

の営業活動によるキャッシュフロー、(1) 当年度純利益が、収益的支出が増額したことにより、17万9千円の減の5千116万239円となります。

(2) の営業活動から現金預金への当年度純利益の調整、イからホの金額は、当初と変更ありません。従いまして、小計が17万9千円減の、1億7千667万3千962円となります。受取利息及び配当金受入額、支払利息及び事業債取扱諸費の支出額の金額は、当初と変更ありません。したがって、営業活動から得た現金預金純額が17万9千円減の1億5千681万7千962円となります。

次に、2の投資活動によるキャッシュフローです。

(1) の固定資産の取得による支出、建設改良費の支出が増額したため、54万2千円減のマイナス2億696万8千891円となります。従いまして、投資活動から得た現金預金額が54万2千円減のマイナス1億9千746万1千483円となります。

3の経済活動によるキャッシュフローの金額は変更ございません。したがって、4の現金預金及び現金等価物増加額・減少額が72万1千円源のマイナス4千780万9千521円となります。

5の現金預金及び現金等価物、期首残高は変更ございません。したがって、6の現金預金及び現金等価物期末残高が72万1千円減の5億3千442万5千735円となります。

次の7ページから8ページにつきましては、給与明細が載っておりますが、これも一般会計に準じていますので、説明は省略させていただきます。

説明は以上でございます。

○議長（茅沼隆文）

説明が終わりましたので、質疑に入ります。質疑をどうぞ。

（「なし」という者多数）

○議長（茅沼隆文）

では、質疑が内容ですので、質疑を終了して、討論を行います。討論のある方はいらっしゃいますか。

（「なし」という者多数）

○議長（茅沼隆文）

討論もないようですので、採決を行います。

議案第53号 平成30年度開成町水道事業会計補正予算（第1号）について、原案に賛成の方の起立を求めます。

（起立全員）

○議長（茅沼隆文）

着席ください。起立全員によって、可決いたしました。